



書道家  
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉  
片山右京

×



#### 第五筆

憂きことの なおこの上に積もれかし  
限りある身の 力試さん

#### 片山右京

これは僕の父がよく言っていて、脳に刷り込まれたような名言。憂えること、嫌なことは、「これでもかこれでもか」と自分に降りかかってくるけれど、力のある限り、この身体を試すんだ、という意味。人間は苦境が来れば来るほど、ファイティングスピリットが湧いて、「よし、やってやろう」という気になる。そして、挑戦を繰り返す。僕の人生に大いに影響を与え、その生き方に繋がっていった言葉だと思っています。

#### 武田双龍

片山さんの武士道を連想しました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。  
<http://so-ryu.com/>